

日本におけるエイズ

国連合同エイズ計画 (UNAIDS) によれば、日本におけるHIV感染者の数は約12,000人であり、そのうち24%が女性である。2003年におけるエイズ関連疾病による死者は500人未満であった。しかし決してこの状況に安心してはならない。エイズ知識の不足や、HIV感染者の社会的疎外などを見ると、HIVの急速な全国的蔓延は十分に起りうるシナリオである。

- ・ 2004年に報告された新規感染者の主要な感染経路は同性間性交渉 (60%)、異性間性交渉 (26%)、注射薬物使用者 (0.4%)、血液感染 (0.1%)。
- ・ 2004年に報告された異性間性交渉による感染は約450人あった。これは2003年に約34%の増加である。1999年以降、異性間性交渉に起因するHIV感染の年別数は急速に増加している。
- ・ 同性間性交渉の増加によれば、2004年における同性間性交渉者のHIV有病率は、女性においては顕著な増加を見ている。女性の割合は依然として安定的な増加を見ている。このことは、HIV感染は主に異性間性交渉によって起るといった見方が弱くなる。
- ・ 病状におけるHIV有病率に増加、増加は依然として増加している。2004年には89,000人のHIV有病者が報告された。
- ・ 政府、企業、国、学術機関、NGO (HIV感染者支援) の連携を強化することを目的としてエイズ問題の見直しを行っている。また、HIV感染者の生活の質を向上させるための取り組みを行っている。

お問い合わせ先 :

Dominique De Santis, UNAIDS, Kobe, tel. +81 80 1006-9753, Annemarie Hou, UNAIDS, Geneva, tel. +41 22 791 4577, または Sophie Barton-Knott, UNAIDS, Geneva, tel. +41 22 791 1697。 UNAIDSに関するより詳細のインフォメーションはウェブサイト www.unaids.org で入手できます。